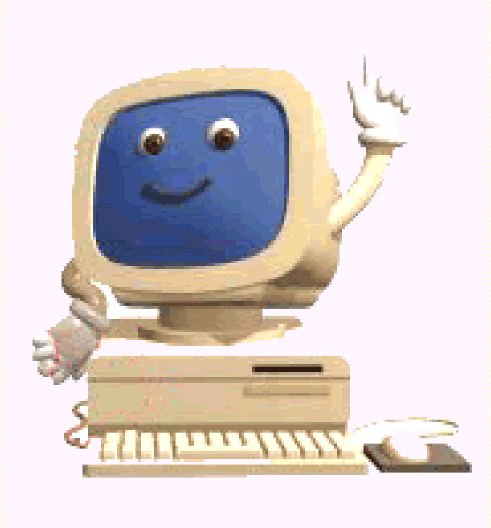
第2回システムの基本的使い方

- お願い：予めログインしておいて下さい。

- 本日の内容
  - 計算機の仕組み(ハードウェア)
  - 計算機の仕組み（ソフトウェア）
  - UnixとWindows
  - システムの基本的使い方
  - テキストエディタと日本語入力
  - 端末エミュレータ
  - インターネットとは
  - 電子メール
  - WWW



システムの利用　補足

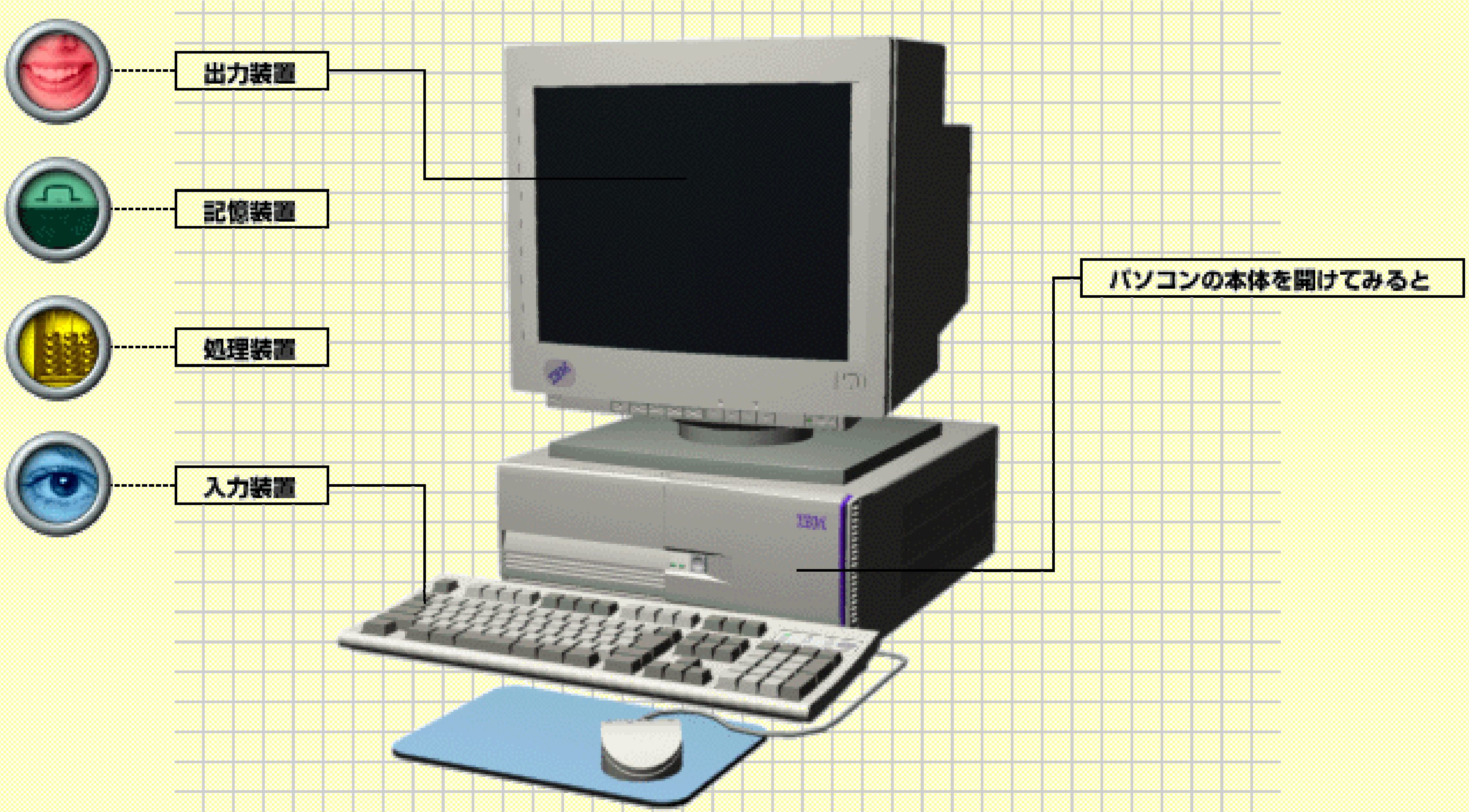
- ログインとログアウトの方法の確認
  - ログイン時にパスワードは表示されない
  - ログアウト時にはwindowを全て閉じる
  - 電源は本体とディスプレイの両方を切る
- 印刷は一人、240枚/年
- テクニカルアシスタントに相談

計算機の仕組み(ハードウェア)

- 入力(ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ,ﾏｳｽ)⇒演算と制御(CPU)⇒出力(画面)

  ↓ ↑

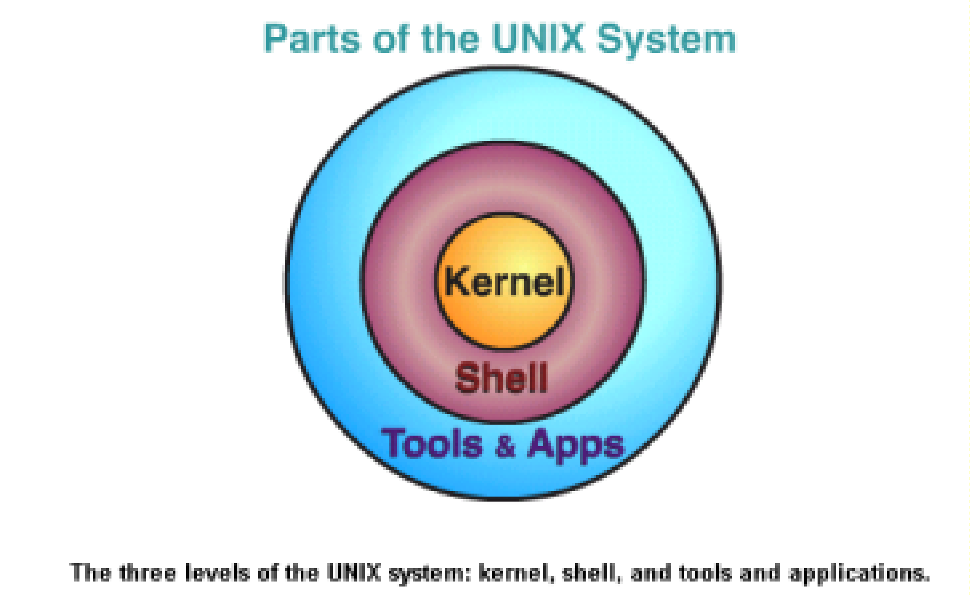
  (メモリ:RAM,ROM)　記憶　(Tape, FD, HD, CD-ROM, DVD…)

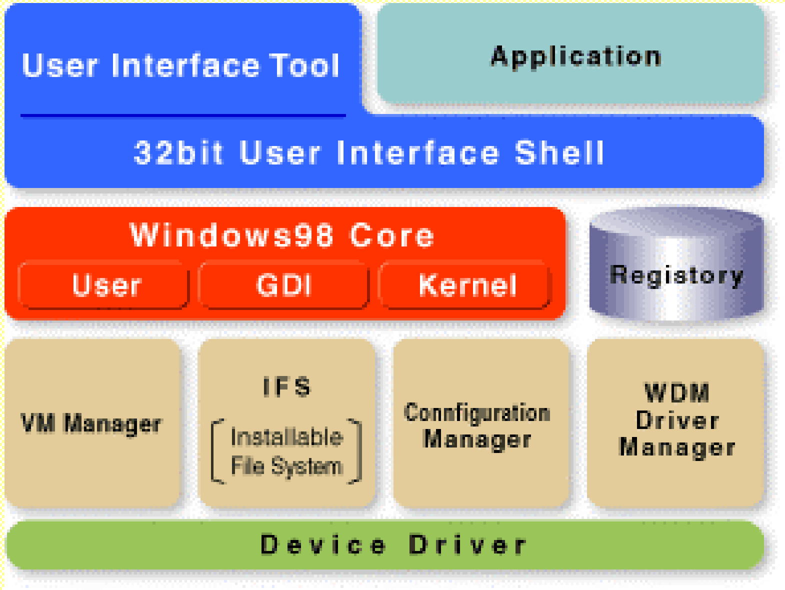


資料:http://www.ibm.com/jp/event/museum/shikumi/shikumji.html

計算機の仕組み（ソフトウェア）

- OS（operating soft, 基本ソフト）
  - ソフトとハードを管理・制御
  - Windows、Mac OS, UNIX (Linux, AIX,Solaris…)
- カーネル⇔シェル⇔アプリケーション⇔ユーザー ・・・階層構造
  - ユーザーはアプリケーションレベルで利用⇒やさしい
  - この講義では、シェルレベルも扱う⇒やや高度、応用広い





http://www.bell-labs.com/history/unix/tutorial.hmtl http://pcweb.mycom.co.jp/special/2001/w32shell

UnixとWindows

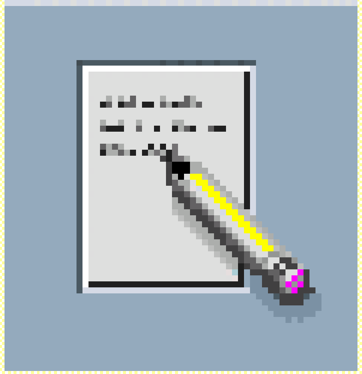
- Unix
  - 1969：ベル研究所で開発
  - 多数の人間が同時に利用(multi user, multi task)
  - それまでの専用ソフトから基本＋モジュールに分離
  - 数多くのUNIX間で、ソフトの書き換えが容易
  - アプリケーションの蓄積が豊富
  - C言語が標準
- Windows
  - 1981：IBM-PC(IBM) + MS-DOS(Microsoft)がベース
  - 一人が一つの仕事（single user, single task）が原則
  - 1985：Windows　1.0

システムの基本的使い方

- GUI(マウス操作)とCUI(コマンド入力)
  - GUI:Graphical User Interface(マウス、直感的)
  - CUI:Character User Interface(キーボードから、コマンド覚える)
- CDE(common desktop environment)
  - window（窓）の操作環境の一つ
  - フロントパネル、アイコン、ウィンドウの基本操作
    - P.33～:2.2.1　フロントパネルについて
    - P.35～:2.2.2　ウィンドウの基本操作

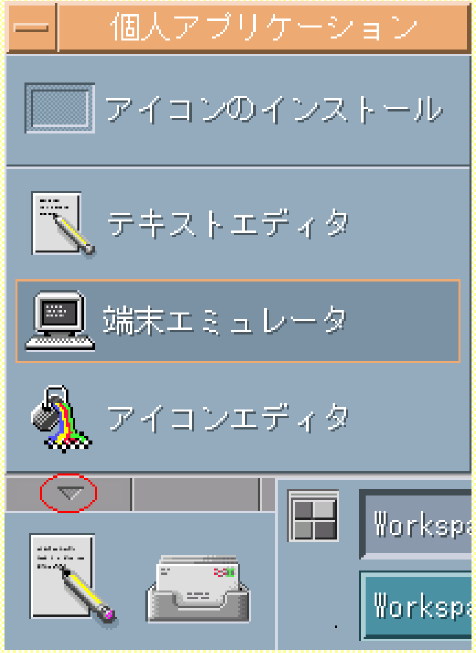
テキストエディタと日本語入力

- テキスト（テキストファイル形式）とは
  - 基本的に文字データ（キャラクターコード）のみ
  - OSや機種を問わず共通
- エディタとはテキストを編集するソフト（ツール）
- dtpadを使おう（p.45～）
- 日本語を入力しよう（ p.48～ ）
  - 簡単な自己紹介の文を書いて、intro.txt　と名前をつけて保存



端末エミュレータ

- 端末（terminal）
  - 本来は専用端末（ハードウェア）を接続
  - 端末をソフトウェアで実現⇒エミュレータ
  - 他のコンピュータ（Windows、Mac、etc)からも操作できる。
- dttermを使ってみよう。（P.35～）
  - パスワードの変更（pp.28-29, 6-8文字）
    - 他人が類推しにくく、自分は覚えやすい
      - kimura⇒ki6ra015, kyon2163　とか
    - 新しいパスワードは翌日から有効
  - コマンドを使ってみる
    - ls, cat intro.txt
- タイピング⇒タッチタイピングを練習
    - typist と入力すると始まる。Control + c　で終了
    - http://homepage2.nifty.com/sortie/touch/index.htm　をアクセス

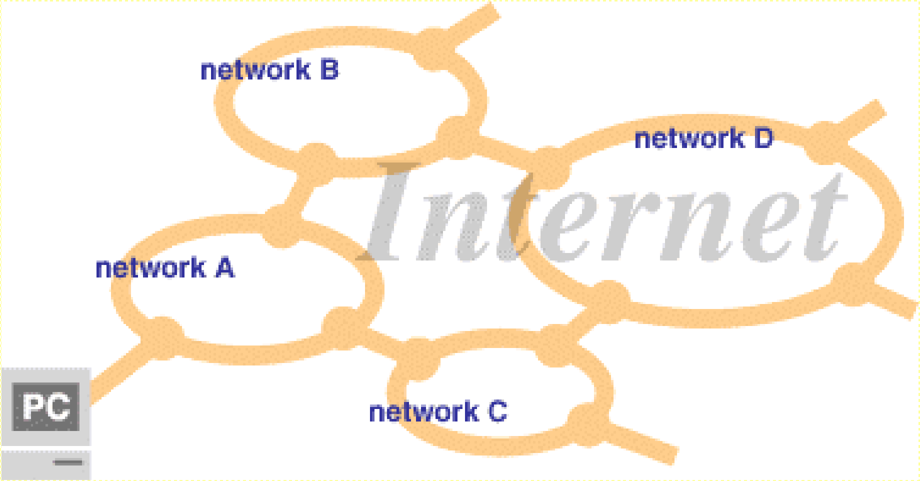


インターネットとは（p.67）

- Internet
  - inter(・・間の、相互に) + net (networkのこと)

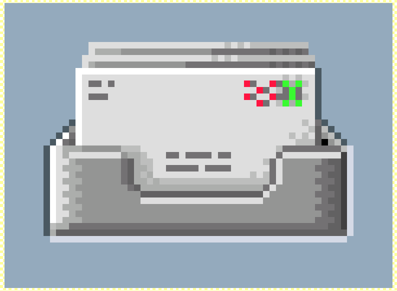
⇒　多くのネットワークをつなげて一つのネットワークにしたもの

詳細は以下のウェブサイトを後で参考にする。
http://www.iijnet.or.jp/sankyo/inet/index.html



電子メール

- dtmailを使ってみる(p.68～)
  - 送信ーまず、自分に送ってみようー
    - To:相手のアドレス （必ず半角で入力）
    - Subject: メールの題名 （半角が無難）
    - Cc:ついでに送る相手のアドレス
  - 受信
    - メールボックス(x)メニュー、新規メールをチェック(M)
    - 一覧から選んでマウスでクリックすると下に表示
  - メールアドレス
    - アカウント@cs.ecip.tohoku.ac.jp



WWW (World Wide Web) p.74～

- Web:織り合わせたように交錯したもの、
  クモの巣状のもの（ランダムハウス英語辞典）
- 文字、絵や図を一括して取り扱えるハイパーテキスト
  - コンテンツ：Webサーバーにあるハイパーテキスト
- http： Hyper text transfer protocol
  - Webサーバーとwebブラウザー（NetscapeとかI.E.）のやり取りの仕組み
- ホームページ（Home page）とウェブサイト（Website）
  - Home page: 文書を指定せずアクセスしたときに表示される文書
  - Website:文書を置いてある場所
  - Webpage:文書ファイルの実体（〇〇.html）
- Netscape（Webブラウザー（browser））の起動
  - ターミナルで % netscape
  - www.google.co.jp にアクセスし自分の興味あるキーワードを入力してみよう。

レポート課題

- テキストの前書きの要約を作成し、メールで提出する。（受け付け：4/17～4/27）
- インターネットの検索サイトで、自分か自分の身の周りの人を検索し、どの程度の情報がインターネットにあるかを調査したレポート（感想をまとめたものでも可）を作成し、メールで提出する。決まったフォーマットは無いが、インターネットを検索したことと自分の考えが伝わる内容とすること。（受け付け：4/28～5/6）。
  - www.google.co.jp，www.yahoo.co.jp，www.goo.ne.jp など
- どちらも文字数の指定は無いが、A4用紙に収まる程度であれば好ましい。
- コンピュータの操作が良く分からない場合は、テクニカルアシスタントや友人に聞く。操作が苦手な場合、1－2行でも構わないので必ず自分で操作して提出すること。
- メール送付先：c2ja0rat@cs.ecip.tohoku.ac.jp